武　一　中

URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/
ホームページがリニューアルしました。

平成２９年１２月１日
武蔵野市立第一中学校
学校だより２９－７号

陰のノーベル賞受賞者

校長　　若槻　善隆

早いもので平成２９年もあと一か月になりました。１０月の一中フェスタ、開校７０周年記念式典、１１月の１年生白馬交流会や２年生校外学習、３年生ポスターセッションなど行事が続いたせいか、あっという間に師走を迎えた様な気がします。しかし一年の締めくくりはしっかりさせたいものです。

さて、先日（１１月２７日）の朝礼で、その日はノーベル賞制定記念日ということもあり、アルフレッド・ノーベルの話をしました。今回は、そのノーベルの遺言がもとに制定されたノーベル賞の受賞者の陰の功労者の話を紹介します。

1970 年にアメリカの農学者ノーマン・ボーローグという人が、ノーベル平和賞を受賞しました。1960 年代、世界各地で干ばつによる食糧難にあえいでいました。ボーローグ博士は、小麦の品種改良を行い、小麦の増産に成功し（「緑の革命」と言います）、その窮状を救いました。その功績が称えられ、ノーベル平和賞につながったのです。しかし、この「緑の革命」には陰の功労者ともいえる日本の農学者がいました。その人の名は、稲塚権次郎（いなづか ごんじろう）と言います。

稲塚さんは 1897 年に、武蔵野市の姉妹都市でもある現在の富山県南砺市の貧農の子として生まれました。中学生の時、ダーウィンの書いた「種の起源」と出会い、農家を救うためには、おいしくて収量の多い米を作ることが必要と考え、育種家を目指し、東京帝国大学農学実科に進学しました。卒業後、農商務省（現・農林水産省）に入り、秋田県で「水稲農林１号」の育種に取り組みました。1926 年に突然岩手県への転勤を命じられ、小麦の育種が主流であった岩手で小麦の品種改良に取り組むことになりました。（その後「水稲農林１号」の育種は、新潟県が受け継ぎ「コシヒカリ」となりました。）

近い将来、小麦の需要増と食糧不足を予見していた稲塚さんは、新品種開発に尽力し、次々と小麦の新種を開発させ、「小麦の神様」と呼ばれました。そして 1935 年、「小麦農林 10 号」（ノーリン・テン）を完成させました。このノーリン・テンは、背丈が低いため倒れにくく、品質が優良で雪の下でも腐らない、さらに穂が大きく粒が良好というたぐいまれな良品種でした。稲塚さんは「まるで当時の日本の農民のような小麦だった。背が低くて、頑丈で、骨太っていうのかな。とにかくいくら穂をつけても倒れない。」と評し、かなりの手ごたえを感じていました。しかし、日本の多雨条件下ではやや病害に弱いことが災いし、あまり普及しませんでした。

その後、時代は太平洋戦争と突入し、敗戦とともに日本は連合国の支配下に置かれ、ノーリン・テンはＧＨＱの手によってアメリカに渡りました。アメリカに渡ったノーリン・テンは地元の小麦と交配され、背丈の低い新品種「ゲーンズ」が誕生しました。ゲーンズは 10 ヘクタールあたり 140ｋｇという驚異的な収穫量をもたらし、小麦の収穫量を飛躍的に増大させました。また、メキシコで小麦の増産計画に取り組んでいたボーローグ博士も、ノーリン・テンを譲り受け、試行錯誤の末、背丈が低く多収の新品種を開発し、メキシコだけでなくインドや中国、パキスタンなどの小麦収穫量を驚異的に増大させ、世界の食糧不足の改善に尽くしました。その功績が評価され、ノーベル平和賞を受賞したのです。ボーローグ博士は、受賞後、「ノーリン・テンを利用したからこそ自分の業績が実を結んだ」と語ったそうです。

現在、稲塚さんが開発したノーリン・テンの遺伝子を受け継ぐ小麦の品種は、世界中で 500 以上に及び、50 ヶ国以上で栽培されています。

知名度は高くありませんが、稲塚さんの生涯は「ＮＯＲＩＮ　ＴＥＮ～稲塚権次郎物語」という題名の映画や本にもなっています。

1年生　白馬交流会～思い出と感謝を込めて～

１１月９日（木）セカンドスクールでお世話になった白馬村の方々をお招きして、毎年恒例の『白馬交流会』を開催しました。今年も白馬村での体験をポスターにして報告する「学習発表会」の後、民宿の方々と一緒に白馬のもち米でおはぎづくりをしました。体育館での閉会式では「ふるさと」「校歌」を披露しました。最後の見送りではみんな手を振り、別れを惜しみました。また、たくさんの保護者の方やお世話になった指導員の方も集まり、思い出深く温かな交流会となりました。保護者の皆様、お手伝いありがとうございました

2年生　校外学習～いざ鎌倉、初心を忘れず～本物の２年生へ

１１月１日（火）２年生は鎌倉へ校外学習に行ってきました。３年生で行われる修学旅行を想定し、班行動で一日を過ごしました。一中生としての誇りと高い意識をもって臨んだ２年生は、通勤客の多い中、三鷹から新宿で電車を乗り換えるという困難（？）を克服し、いざ鎌倉へ。鎌倉市内では江ノ電を利用したり、切通しの中を歩いたり、長谷寺や高徳院の大仏、銭洗弁財天などを見学しました。緊張しながらも、みんなで協力してすばらしい班行動ができました。

3年生　ポスターセッション開催～テーマは「国際理解」～

１１月１０日(金)、３年生がポスターセッションを行いました。今年の３年生は、各グループが旅行会社に扮して、奈良・京都・大坂を旅行する外国人観光客に、特徴ある小道具を使いながら、それぞれの見どころを紹介するという形式で行いました。紹介を聞いた１，２年生もたくさんの意見や質問をし、活発なセッションが行われました。学校全体で国際理解についての見識を高めることができました。
１２月１９日(火)には１年生によるポスターセッションが行われる予定です。

頑張れ　一中生！　中学生「東京駅伝」武蔵野市結団式

１１月１１日(土)、第９回中学生『東京駅伝』武蔵野市結団式が行われました。一中からは、武蔵野市の代表として２年生男子・佐藤紀祥君、丸茂克麻君、女子・池田万莉奈さん、白川美那さん、石丸愛佳さん、安田彩乃さんが選出され、宮崎教育長から選手証をいただきました。６人は、合同練習会を重ね、来る２月４日（日）調布市の味の素スタジアムで開催される中学生『東京駅伝』に臨みます。応援よろしくお願いします。

【第 51 回中学生税についての作文　入賞者】…１１月２９日（水）に表彰式がありました。

東京納税貯蓄組合総連合会会長賞	斉藤　月奈　さん
武蔵野税務署長賞	小林　未来乃　さん
東京都立川都税事務所長賞	江本　陽佳　さん

12月行事予定

	曜日	行事	日	曜日	行事
1	金	セーフティ教室	19	火	１年⑤⑥ポスターセッション
3	日	PTA フェスティバル（市民文化会館）	21	木	⑤⑥オリンピアン講演会
4	月	教育相談（～８）	23	土	天皇誕生日
11	月	朝礼　　安全指導	25	金	終業式　大掃除
14	木	全校委員会	26	火	冬季休業日(始)～1/8(月)
15	金	各種委員会 ３年私立入試相談（始）	29（金）～1/3（水）完全機械警備		
18	月	生徒会朝礼			